No. 13

To the Teachers and Students of Rakusei My dearest friends,

Do forgive me for slipping away like a thief in the night, but there is a whole litany of reasons as to why I have done so. One is that my train passes through Kyoto during the dead of night, just when you should be home sleeping! It would be hard for me to say good-bye, for as I return to America I leave "half my heart" here at Rakusei.

There is one favor that I ask and this I know you shall do. Please aways follow your Principal' Fr Nadeau. Be faithful to him. Father Nadeau can make Rakusei an excellent school. He can help you become better individuals, but he needs your help, your encouragement, your prayers.

Each to you shall be ever remembered in my daily prayers. So when you go to chapel, sometimes say a prayer for me. I will be there in spirit.

May God bless each of you and your families. To the students I ask that they remember me to their wonerful parents who cooperated so generously with me. I shall always be grateful.

My prayer is that together with God's Blessing you shall have health and happiness...always.

> いております。それにもましては お帰りになると聞いて、非常に然

ゆつくりと静寂していただく事は

用売お去りになって一年の休暇を

校長先生が本国へ一年の年収で一す。これまでしたてて下さつた沿

の単純をハ日ホワイト神紀に送つた。

生涯会中央。意員長原田母等官は生徒を代表し次のような認別れ

いながかいたしま。ここに生

使は流代表して細胞状造さし上げ

マ侯達はこれからも以前とかわら 私達の希望とするととろです。

州学にスポーツにはげむつも

超人気のあるCMのようでありた と思い、また同級生のなかでも大 しろの列のB對のようでありたい

かつたとしたら誰によつても果さ

世たみなざんはこのようにみな

來月から冬服

よ結展してゆくこの音量は校長先

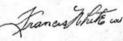
される事を創祈りします

分しというものは他の部とも取り

なる天王様を一番立派な侵れた汉 さんの一人一人とともにおいでに

関はあい色一色に変わるわけ。 例年のように来月一日より問服は

Your friend ever, September 1955



な 别

九

言

麻

田

長、ブイスイス訓育主任も十日およそ次の様に就 ホワイト神父は本校生徒と父兄とにあて次の様な 手紙を送り、別れの言葉をのべ、新任のナドウ校 には中村先生が就任された。

Rev. Father Francis Paul White, c.s.v.

The CLERICS OF SAINT VIATOR

UNITED STATES OF AMERICA

1212 East Euclid Avenue

Arlington Heights, Illinois



また教頭には佐々木先生訓育部主任補佐

ウ神父(訓育主任)訓育主任にはブイスイス神父 フランシス・ホワイト校長は精神的疲労の為その 職を去り、すでに九月十一日羽田空港から故国ア メリカへむけ出発された。この為新校長にはナド

のります。一つは、みれざんがい 神父様の住 、取はすつかり夜のとばりの記

訓

育主任

のとおりです。生徒諸君は誰でも 自由にお学紙を含しあげてくださ ろこびになり、みなざんの記憶の ません。そうすれば神父様はおよ いきつとそのおの ホワイト神父様のあて名は左 英語でもローマ字でもかまい

のに。そこで百姓さんに山いたと

す。つまりみなざんに救えたり、

あり刈入れも近ずいているという。 意味において土を称しておられま

とろが「土のせいです。」と答え、正しい数資や訓資を与ぶるように

にいつでも注意しておられます。

とりのぞくとと、つまりいろんな 思い影響からみなさんを渡るよう

来の日曜日の午後のことです。私 は反だちと一緒にカナダのケベツ は九月の終りといえば墨の刈へれ しい川の道を歩いていました。 ク州のロウランディデスという実 る時に遺ばたの麦の畑を見ていて 十年以上も以前のある九月の月 先生方は一生懸命になって、ある

時で、麦は普通二尺五寸から一尺 位になっているものです。原がそ 一との世界の中にいるというととは ですが、考えてみればみなさんが もつと不思談に思われないでしよ ときとしてみなざんは敦宗の精

ありたいと思い、またいつでも試

で

る「自分」は唯一のものだからで れはみなさん一人一人がもつてい み限みをもつて、との世の全ての に見えます。袖様はその限りない 人から少しだけ違う「あなた」を んはこの世に生きている間にしな とは、他の部も代りにすることは にしてほしいと思っていられると で言ません。しかもそれをみたさ だから天主様が特に「あなた」

事をしておられた佐々木先生が、 問校長になられた為、その形任と 人が展動により、台まで会計 今度の核技先生の御帰国に伴う 会計に湊先生 就任さる

すれば天主 様はおよろと り、そして私たちも自分で満足

さんは非常に気高い人になること だけ域語を同してくだざい。そう ができます。全てのことにできる のためで毎日排げるたらば、 **発売組なことをも天王様のみ栄売** 規則に従う時にも、その人の人格 たさんが 一寸手を上にあげる時に 時にも、農夫が領を一ふり士に与 郷脈半が一寸自分の理差動かす 茶の間で送う時にも、小さな

ブイスイス 新川育主任

> 前 立

人生は或る人にとつては味気な

神父書簡

家屋の上に神ざまのみ風みが豊か

どうぞ、みなさんとみなさんの

第行所洛里中学校生诞会 福集 裕里高等学校

hald to the season with the little

りた京都差近つていくからです。 カへ帰っても「ととろの中ば」は また一つは、私のからだはアヘリ 洛川にとどまるからです。だから れますが、それには見が、みなさ んの路力、海力、そしてお祈りが な人格者にするために力を尽くさ みなさんを一層工芸 んが神音法の祝福とよもにあり、 盛出しております。 いついつまでもが限と命報とそあ

私が役
なかにそつと、
とあいさつ もせずに去つてゆくことをお許し

どうしてそういうととにしたか

ですからみなさんも御田堂にはい ちのひとたちのことを忘れません 時に、みなざんやみなざんのおう もお祈りを捧げてくだざい。その 私はこれからも毎日の記祈りの しわわれるように切に希望して、

お願いがあります。みなさんはそ

お祈りをつつけております。 みなさんのだだちである ホワイト フランシス・ポール・

ナドウ 新校長

し動せずに、常に、みなさんを設

のひとたちのためにお祈りいたし にーみなさんとみなさんのおうち 段や先生たちの御信導を瞬直に受

て下さい。また中学校の一年生の 知れません。しかしみなさんはこ けてください。そうする水らば必 の人生の中に崇高なものをみつめ なつもりで気楽に天主様に話しか ような清価な目で天主様を仰ぎ見 ず担日の生活は楽しくなります。 て下さい。淡空での無駄話のよう

雌似をにくむ者 よ、この旗の下 聞 部員募集

うに、不完全な自分の考えだけで

んによろしくお伝えください。仏 それでは以たさん、私はみなざ

ところがもしも十がよくないとし

おたすけくださった紅見のみなさ

す。この学校の生徒の全てがジュ めてするとと差明待しておられま さんが共組なことをもことろにと 天主様の目に写つて、それをおよ ととで、しかもそれは最も大切な リアス・シイザアや有名な医者や

どんな小さなことでも、ことろを れません。しかしみなさんは全て こめてよく味わい、また日常茶飯

二赤十字社病眼科部 立命館医務課科

京都市上京区河原町通広小路南

新

た。毎日、晩おそくまで、まだ賞一や日本の学校のことについて一生

今度校長先生は、御病気のため突然アメリカへお帰りにな

間既、命の努力をはらわれまし

とをやめて日本へ来られ、日本語

さて神父様は洛星のために四年一のであります。名待あるこのして

時まで本校の模能としてやり続け

られるまでその問題についてアメ

ついての専門家であり、京都へ来

あまりにも突然のととで、との

融して居ります、励わくは、先生

持も文には表すことの出来ない程

念に思つて居ります、三年余の間 大きいもので、この事を非常に残

藤野

ホワイト神父様は聾唖者数資に

から高校の生徒たちは空業する

主
れ
原
切
に
な
る
の
で
あ
り
ま
す
。
で 節から多くの志顕者が来たととの

校の最初の評判を作りあげ、二年

て惜しまずに各自に個人指導を与 えられたのであります。

垣週との人たちに公教専理を数え ずつとお世話しておられました。

人を五年間

以上の雰囲の 父様は六十名 のほかにも神 かわらず、そ あつたにもか 負担は充分で だけでもその

たしかに今の高校の一年生が本

寸暇に聾啞者も指導

選が不自由であるにもかかわらず一瞬命に研究なざつたのでした。 F ウ 神

すなわち現在の高校一年生を思い 始つてから三ケ月しかたたないら一学校のために働いて先生万、父兄 方のグループと最初の生徒たち、 すと同時に、四年前の最初の先生 出さずにはいられません。学校が 健のことについて好いらわざのと一 ちにもうすでに方々から学校や生 ができたことはホワイト神父様を はじめ、最初の先生方と生徒たち とばが耳に入つて学校のよい評判 ホワイト神父様のことを思い出 学校についての全ての複雑な問題 なるばかりでなく、立派な人にな なさつて、殆んど自分のための眼 遼、他の学校関係者と相談したり 夏休みでも殆んど休寝をとらずに した。日曜日でも、休みの日でも を解決するようにつとめておりま というものはありませんでした。 本校の生促達みなさんが学者に れたお金や出もので多くの困つで いる人々を設われたのでありましますと、神父様が願われたよう

あ

>

神父樣

お元

気

C

のおがげであるというとと光とと一るというととについて、ホワイト

神父様がどん

いうととはみ おられたかと なに心配して ほどでした。 個も及ばない なざんには想 としての務め 学校の校長 しい美しい空、雲一つ浮んでいた す。青い青いほんとうに青い、美 消でてくれそう
な空で御座いまし かつたので御座います。何かしら とのけがれた私を吸い込んで洗い 私は青い空を見たので御座いま

を、小なからず恐れていた。

中学校に入るその時まで、外人

生の姿を一生伝れることが出れた

いだろう。

外村

陽

奥山

正夫

の写真を見てもかならずニツーリ

僕のアルバムの中にいる先生さど

方で御座いました。 空、ホワイト神父様はその様なお た。神秘で、美しく清らかな青い 三卷

様でありました。そして先生の温

をとき、距を隔てた人が親友でで 和さ、ユーモラスな件質が隣の心

もあつたかの様に思いとんだ。

一生の外人感になるでし

の人が英語の先生、ホワイト神父 しかし、最初に親しくなつた他国

おかしがたい欧欧 弘忠

そのかげで稚気がほんのちょつぴ **収銭の底に光る目** いたずらつ子のようなその笑顔。 り顔を出す 神にさざげ切つた滑らかた日 整個に両方両ちた目 よう。 み、苦に楽しんで参りましたが、 緒に美しい学校で学び、共に苦し

倒立以来二年会を核長先生と一

が残念だ。

吉川

和夫

面能は一生伝れるととばない

僕等の心の奥底にある目 身はアメリカに去られても 高畠 久 校長先生の御努力を今更ながら感して、我々の先生に対する慇瞍の気 た群に、ただおどろくばかりで、 現不幸者をとこまでお導き下さつ ふり返つてみますと、私選の様な

浴

に言つておきたいと思います。

リカの大学で翻絵をなざつていた。しみに拥われております。怖かつ たが善いことは誰よりも唇んで下 来るだけ早く、又本校へおもどり に思い出としてはつきりと蘇って 一、三日何とも言いようのない怨 になるようお祈りいたします。 さつたその度合が大きかつただけ まいります。病気が早く全快し出 と悲しみに行たれた。酸格な中に の御帰りをお待ちしています。 なお姿が今一層先生への思察の情 も神の如き慈愛のまなざしと温厚 報差耳にした時突然私の心は驚き 校長先生がおやめになる!との

和孝 となり私は如何なる細事情があろ

つた。あの頃の英語の時間は本当

に楽しかつた。週に一度土曜日に

他の組へ数えに行かれるのする。

んだか、びんとこないようです、

校長先生とお別れと言つでも何

い英語の時間をもう一度だけでも 僕には淋しかつた。そんなに楽し いてくれた人、それは校長先生だ はじめた頃、明るく楽しく数元等

V

僕がようやく英語に興味を持ち

山田

拓郎

く去つていかれたのである。

いる、ここに校長先生を思い出し、ナドー新校長、及び四年

我々の学校は、今何んともいえない空虚を気がただよつて

高校長先生の設えを受けた高校一年生の疑問の言葉をかかげ 長先生の御病気が一日も早く良くなり、又校長先生の元気

な餌姿が見られるよう祈つてやまないのである。

の学校を育ててこられた校長先生は、先日夜の京都を含びし をつくされ、我々生徒のために常に変ら必愛情でもつて、こ つた。学校が出来てから三年余りの間、いろいろのことに力

は校長先生の鬼に背中をむんずと と老したととがあつた。その時候 生初め学校中の著皆んなで鬼どつ 年の初めに旧館の最上で校長先 まだ運動場も何も出来ていない らともお別れしたくない。あの征 さと悲しさで胸がいつばいた。 人格は万人が周知のこと唯ざみし 校長先生が学校を去られたのが

つかまれたととを覚えている。顔

メリカの友達や親戚の人から贈ら もう一つのととは、神父様はア 父 なさんはその感謝の気もちをどう たければならない上思います。み ずにつねに学校や困づている人々して、毎日ますます立派太生紀に す。そのお金は決して自分で使わ一に、よく神父様のためにお祈りを 調しなければならないと思います 知られておらない頻業をここに強 ために使つておられました。 非常に深い経謝の気もちをいだか **祉父様に対して私たちはみんな** 仰父様の隠れた徳、又は人々に

いうふうに扱わしたらよいかと申 ます。

様のことを思い出すとともに、神 が天主線を認めて、自分の良心の 父様が努力された目的をも思い出 どうかみなざん、ホワイト神父

して下さい。つまりみなさん各自一断下さつたことを、いまさらの様 西に従って、神のみととろに

通つ

「ます。とれからも神父様は、御身 なるように努力することでありま た立派な人格者になることであり一体を大切になざいまして、ますま

加賀誠太郎

ないと思います。説々は神父様が

に接する日を待つて居ります。

愛下さいまして、又御元気なお必 つて唇ります。先生どうか、御白

ほほえんでおられる。酸はこれ 待しております。 静報になり多くのお土盛期と共に 力します。では元気でゆつくり御 徒になる事を誓い全力を同して努 校にある事を信じ、洛尼らしい生 洛里にお帰りになる事を心からお さいました。倭選は先生の魂が学 世話して下され本当に有難とうと一ています。

奥田良夕ネーを見ると真赤でそれこそ本当の鬼」な気がする。考えているといる

の様であった。本当に家族的な楽一らかんでくるのは先生の笑顔が

しい思い出である。

瞳にあふれる生徒への慈愛

玄土

々にとつて謎のように思われる らに学校を去つたのか、それ行政 さよなら」をのべられなかつたの た。しかしあの験しい温い手紙を 々の心は、氷のように冷たくなつ らに温くなつた。ホワイト校式の 受けて殺々の心は鄴の日差しのよ なぜホワイト校長は襲か置よ 先生のなざれた仕事は文には製 ちたお心に報いるには効学にはげ 謝しております。先生の経變に調 を御指導下さつたことを心から感 校にきてから今日まで種々と私達 みしく思つております。初めて学 なさるということを知つて大変さ にと心から祈り、且つお待ちして られ、航空を再び間指導下さる様 ます。私遊は一日も早く先生がよ んで立派な人になることが一番だ と思うので出来る限りの努力をし くなつて再び淡が搭屋にたちもど 僕は思い掛けなくも先生が帰国

おります。 校長先生、

すことの出来ない程、偉大なもの

たかつた。洛星のための四年間、 解りますが、やはり機道はお別れ に一言何かおつしやつていただき 述べるのは思しいというお気持は 再び洛州に元気な姿をお見せ下さ いです。ゆつくりと音景なさつで一てとんな。事に気が着いたのであ つた事に対して感謝の念でいつば 心からの疑情を持つて創担原下さ 生徒に別れの言葉を りつつ 校長に 会った のは 五分過 る れ、云いよう無く「すみません」 けていた時の事、三時半からと知 校長は眼が綺麗だつた。今になつ 談、という順に笑う。その時の眼 ぎ。「洛星の生徒ですか」と問わ 暫く睨みつけた眼が急に今のは冗

謝すると共に、今後の御修康世お

我々を御指導して下さつた事を感

祈りいたします。

隆太

一金り烏水のでいまだに
うそのよう
一校長先生と共にもちたいものだ。一して
又非常に私達に
理解があった
思柱としてよく
ぞ今日
密働いて下 思い出と信えば、いつもにこにとしとて無い。疑国に四年間、雑草しげ しておられた、あのお顔です。そ d | る畑に今日の洛屠を築き上げた大 ました」と云う他はない。知る省 は「扱い間本当に有難度う御ざい 今度学園を去られた校長先生に で

樂

符

L

3

す。神父様には、私の父がなくな にありがたく思つている程であり の在りし日の面影が検に浮びま って以来合日までいろいろと御心 苦しい四年間の長い年月も、今は す細路展なざいます事を心から御 楽しい思出となつた今日、神父様 祈りいたします。 た、それを聞いた時候は何か自分 らな気持がしました。しかし、こ ずに学校を去られた研を聞きまし 一でしょう。だから私達はそのご原一であると思うとしかたない。早く の類る物が無くなつてしまつたよ そら、大きくかがやかすことです にむくいるため、この浴兒を一つ らゆる前に気をつかわれすぎたの んな事でくよくよしていてはいけ 神父様がひとこともおつしやら

西口

あまりに、突然の事で態きまし

校長先生・此度の御帰国を出き

昭夫

籍

た。本校創立以来四年間の、先生

の駆い御教訓を胸に刻み、洛星の

と言うことです。又それだけ、あ」さいました。何か一瞥でも云つて

ほしかつたが、これが神父の生活

帰つて来てほしいと思う。

松長先生、四年間僕途を色々お つと一層度い学校にしようと思つ ことまで育てて下さつた学校をも

津田

力に帰られると聞いた時さびしい

ホワイト神父様、先生がアメリ

です。どうかとの一年間ゆつくり

休嶷して今までの蛟れをいやし、

又私端の学校を削導き下さい。神

僕還の為に努力して下さつたから 感じがしました。いつも何よりも

ています。帰国されました後もお が回復したならば一日も早く浴星 体を大切に罹生されて早く又洛星 お願いします。 に帰つて来て下さる事をもう一度 おいのりいたしております。例気 の病気が早く回復いたします様で に帰つて来られることを又神父様 突然の御帰国に大変悲しく思つ

高一になりました。この間に私達 に急にお別れすることになったの 生活をしてきました。先生に注意 は校長先生や諸先生方と共に学校 でなんだか変な気がいたします。 樂までいて下ざると思つていたの 私頭は校長先生がせめて私達の卒 楽しい学校生活をしてきました。 されたりしかられたりしながらあ 将星に入学してから三年余たち 松浦 て、洛星学園に、カトリツク数会 に働いてとられたホワイト神父様 迎えましたが、学校の発展のため ナドー神父さんを校長代理として しぎな気がします。私遠はこんど と別れるのはただなんとなく、ふ イト神父さんも元気になられます に出来るだけ、はけみます。ホワ ように……さようなら。

今年の冬、校長に英語指導を受 章 そして再び元気なお姿で本校にも け又離く洛星を作ろうと思つてお まれたこの努力の結晶を機は新校 ります。先生も布分静災をとられ 長先生のもとに一段とみがきをか とは非常に残念な事であります。 規模以前からも 一生けん命うち込 どられることをねがつております 先生が本校を木校を去られる。

樂

器

附屬品

屋

店

条寺町東入

1 2 575 : 5466

校内では含びしかつた。だけど楽 とに楽しかつた。今でも思い出す ん、先生方、友強。あの頃はほん た。楽しかつた。ホワイト神父喜 がつかりした。だけど面目かつ しかつた。ああ、神父様お元気 宝さがしなんかして遊んだつけ。 て待つていたら、衣弦山、機道、 中学始めての選足、楽しみに

皆 樣 0

名に用ぢない立派な人間に成つて

先生の御恩に、お報いしたいと思

四町上ル東側

文文 ○食料品詰罐○ 房 具の

にありますようお祈り致します。

佳弘

過去四年間、私選の指導者とし

風

TELS-E 洛

星中学校門

高史

中学の生徒会役員、瞬間の先生に 定してしまったというのである。 会の中央委員会の権議によつて決 約一万五千円の便途を中学の生徒 によると、この高校の生促会型、 のである。新聞部で調べたととろ

怒る高校生

聞いた人ころと、とれは事実でな

活動してきた。しかるに左記の如

様な考えは先張にあるまじきもの

ラブにも入つていない者は生徒会 その意見も聞いている。(どのク

第

似を払つては損だと考えるかも知

を餌辱した戯榴行為である。との 従うべだの意見とそ、中学生徒会

であるといいたい。

最後に今後も格量生紀会として

れない。がそれは中学生に於ても

つくられるのを前提として今まで 中学の生徒会は高校が生性会を めて真面目な問題もあり、

円ずつ出し、その内二十円は新聞、現の線計とその使用した内訳を配 佐会型というのは、

一人毎月五十四、

現在迄に集まった

高校生徒会

権利を与えるべきである。

高校生の会費を放なく処理したの

いうのはいかにも消極的ではない

が出席し意見を述べて満足すると

は明かに中学代議員の越権行為でか。それならばなぜ四月から中学

生徒会に役員を送りないといはな三クラブ或いはそれ以上のクラブ

百円位である。これだけの金額で いる。クラブ型の総軸は、二千五

と思います。

ームルームに改めてはかつてその ある。議長はこの事件を高校のホ

かつたのか。

船県に従りべきである。

麻田中央委員長

故なく処理したのは中学代機員の

のホームルームの意見に生涯会は

当てた訳である。又中央委員会と 会役とを一緒にして、予算を開り

は先述の三クラブの部長が出席し

脳権行為とあつたがその後の高校

それにもう一つは高校生の会役を

だ。従つめどちらにも都合の良い

が活動するのは、実際難しいこと

模化中学生生徒会對人高校生生徒

雑誌「群星」にあてられ、残り三

十円が生紀会費となっている。ととれ等の間にはつきりと答えるこ

ころが現在高校には生徒会がない

会戦はどうなつているのかという。手落ちだとすれば、これにたずさ、中央需共に一名の代表すら送られ、あるとあつたが、かりそめにも現 ☆最近高校生間で、高校生の生徒 してどり思りか。三、二の答えにをしながら、高校からは、総会・ 糸中央委員会、総会に送る権利が

ととが問題になっている。との生めった者はいかなる遺任をおうかていない。学校は何の理由がある

機達の学開生占の中には極

ベンをくわえて

又非常に興味のある計園も

あります。色々な時間を探 つてほしいーそういう声に

こたえて企画されたのが、

告七会

に入つ

算に五円加算される」と説明があ

の後 折とら

まいります。御明行下さい でも問題を迫つて出かけて

校の生徒会費を使用したか。二、

落ちでない等の弁例不要。

田中健一

主体となりクラブ、出版に関する と思ばれる。だから中学生徒会が 運営は人員、経費の点から不可能

のクラブ投

高校生はスポーツ部、瞬売部、交 しいほど今の生産会はおかしい。 こんな事件が記とらなくてはおか

分浴しているととが立証されてい うに高校生は生紀会費の原思に充 仕事をした、現に後にも述べるよ

え高校にとの三クラブ以外に他の プには征月予算を与えて来た。例

部の三クラブである。との三クラの区別なく配分されているから、

問題のあるべきはずがない。

旗劇コンクール

a

仙に仮被行列、やフアイヤーの

午後(夜)父兄会(優秀左闡や

华前 映画会

以上が生命会毀に関する中学生

は歴史部、音楽部、ハンドボール

われて居り、これらは中・高校生

▽十八日(火)

十円は新聞・神里印刷型として使、マ十七日(月)休み

生征会費として払う五十円の中二、マ十六日(日)運動会

現在高核で活動しているグラブ

化部において中学生と等しい活動 る。 又批判文中には高校生の代表

一、どういら考えの基に立つて高 び顧問の辞任を要求する。但し手

とが出来なければ、生に会役員及

らなかつたはずである。 協力はあつてもこの様な問題は起

高校の現在の状態では生徒会の

高校生に相談もしなかつた事に対

概なのです。みなさんの知

との「ペンをくわえて」の

で、高校生としては不満であり、 のんの相談もなく行われたことな つた。しかもこれは高校生には何

少し問題が残るのではなかろう

ほしいことなどをぜひ込書 りたいとと、検討を加えて

> それに対する中学校生従会の解答 か。ととに高校生二人の意見と、

> > 個々に組立てるならば、その間に

つばってゆける高校生従会の結成 早く中学に頼らない、かえつてひ

を新見する。

奧野副委員長 生徒会費について

直々に質問して下ざつてもよい。

お互に協力してゆく関係上一日も同様のことで了解はつくと思う)

依つてクラブ毀に関して何ら問題

はない形だと思う。もしお解りに

ならない方があるなら生促会長に

校生徒会とが一つに別れて予算も もそも事の起りは中学生徒会と高 受け非常に巡標と思つている。そ 言中学生征会を侮辱した質問文を

を見てみよう。

高田高島

内外を問わず記者はどとへ 語まで記録せ下さい。秋の

お議盟は 一、生徒会毀値上げについて、二、クラブ活動組織について、三、生徒会に対する批判 第七回生紀総会は十六日午後二時四 の分から本校講然で 塚田雲真長が 随長となって 睨かれた。 な 要求、其他であつた。

九月十六日午後 2時40分より本校校 堂に於て開かれた第七回生徒総会の 会計報告によると三十年度前期の生

11080 1320

円円円円円円円円円

徒会会計は次の通りである

野陸ハテバク

F

F

野陸ハテバ演歴音 ドニー

球上ボ

梭

F

野バ歴音

残

残

月

五月 分

月

分 残 算 深 深 深 深 上 ル ル 部 部 部 部 部 計 割 (本部 型)

算

第二部部部部部部部計算 (本部)

算 部 ボール部 部 市 史楽 部 計 額(本部費)

額(本部費)

T

ンドボース・ボース・運動

別会宣 会の経過を報告し、「委員会は大一ではない。しかし今後の活動のた |秀昌長から前期の生征会中央委員 | 徒会として値上げは絶対的なもの 部分が予算委員会で終り大した話一めにそれはよいにとしたととはな

いで競長は会計報告にあたり後期 予算委員会での結果報告を行つ し、会計から四月から九月までの一 方法で毎回公表すると簡単に説明 からは中央委員会の内容を何かの 動も出来なかつた」と説明し、つ一い」と発賞があり、これに対して 続いて議事に入り、法ず議長は 応うちきられた。しかしてれと関 会委中から確実な予算を組んで赤 状のままでよいというような意見 が出されたが、との結論は後ほど 費用を予算に入れる、あるいは現 学をなくす、群星を廃止してその 決定、承認を求めることになり一 た。この問題については、廃止、となつた。 ることになつた」との発信があつ

かつたので総会の役に先生記で語

は生徒会に関係しているものでな

い上認められことでは討論すべき 問題ではない」として一応打やめ

もとに三時間、蘇光閉じた。 し長びいた総会も、熱心な財論の

しい事は解らないが、群星の代金

生征会に立会っていないので評

協力し、双希望や意見はどしどし

一段潜していただきたい。

協力を期待

联がないという 一部の生徒の意見 が生徒の負担になるのと作品に興

少しでも良くし、交話岩の喜ぶも

われわれも不完全な、群星」を

のにするために努力します。

「群星問題」について

批判を誤長は求めた。とれについ て、生征会で役債糧を設けてほし

最後に生紀会への要求、質問、

い、高校生に対して二三の申し入

第七回総会で問題となつた「群

問題はないが、内容改善といつて

出しているのではなく、広告代の

これは生徒会から渡された部盤で

掲載作品に対する質品の事だが

外はすべて否決になっているので

報告語によると「内容改善」以

文芸部

し合い学校の方針にそつて出版す

められ つて始

阿天

言によ

|で今までの分は図書程としてあて | 売というととになり生徒会費から 群星、新聞発行及び図書費にあて ていたが、図書費五円分が手造い 「生徒会賢五〇円の内二十五円を に傾いた様だつた。 連した群星の問題についての討論 これについては「群星は自由阪 たが一応名ホームルーム(高校を 改良、新聞と合併などいろいろ鋭 い貿易が述べられ、結局排量の内 容をかえるということが可決され

られてなく、来月からは生徒会予一致用を出すべきではない」と発言 がありとれに対し神谷先生は「前

織についてであつたが、とれにつ 合む)でよく相談してからはつき 総いて第二級個はクラブ活動組

| りした結論を出す事にしてひとま | 検について一年生からも種々の要

れ、就行委員に対しての、楊除点 たが金護事を終了し閉会の前のお ここに大した結果は得られたかつ 別があり其他いくつかあつたが、

明君は次のように貼している。

事になっていたのに、今回の生紀 なり、生に会似により発行される 「群星四層は前の生徒会で議場に

層問題」について交影部長高極久 力作がなくては、新川のように部 も、その性質上諸岩の協力による

「りついで第一議題是菜者から「生」度総会では確実な結論が出ていな一いて色々討論された結果、「これ一祈りがあり、午後五時三〇分に少一会で又問題になつたとは以外だ。一のの理解を持ち、その発展の為に のか知らないが、この際よろしく ているものである。そこへ高校生 会費として払つている五十円の中 任の生程会は、中学が中心となつと思う。その理由は高校生が生徒 算の点で活動するのは空軸な事だ クラブが出来たとしても群らく予 従会の質問に対する答です。中学 約二分の一は出版物に当てられて による了解を狙つてやみません。 生促会は皆さん方の良識ある判断

るものではない。 員の配導の成果によって左右され

諸岩が今少し交芸雑誌というも

生徒会委員 近く改選

いる。質品廃止の意見があつたの

一部で文芸部の原湖として渡して

に入る。これに伴い生徒会では惨 生迎会は九月末日をもつて三十年 度前現を終り十月より後期の活動

で附け加えておきたいし

又高等学校でも近く生征会が発足

との問題を考えて下されば率いか から、それをよく考え合はせて、することになり、その準備委員が と深い関係のある問題であります なお別稿の・生徒会についてルー期の役員及び委員の選挙を行う。 二十六日各クラスから五名ずつ選 出された。

華 かに学園記念祭 來月十六日から一 週間

心に一週間、多くの行事を一まと いるから、本板もぜひ行うべきだ 校では、たいてい文化祭を行つて 念祭」を行う事に決つた。他の学 として、ヴィアトールの祝日を中 容及び日程は、次の通りである。 つて、とう決つたわけである。 という意見が、先生方の間から起 めにして、「ヴィアトール学園記 ▽明閲十月十六日ー二十二日まで |▽二十二日(土) 秋だ。本校では、始めての試み一マ十九日(水) マニ十一日(金)ヴィアトールの マニ十日(米) 华前 午後 音源会 午後 説励コンクール 午前ミサ(古屋司数のお話) 訓礼会 旦

美味・安價・清潔三拍子揃った

0

めん類・丼・パン・菓子の

家 平

~~スポーツ用品。 文房具

井本運動具店

北区一条通西大路西一丁

洛星中学校生徒会指定店

れを休めて玉時十八分岐阜から築

での約二時間駅で一と眠りして収

よ発車。三時逝、ふらふらになつ

明けて十七日、〇時十分いよい

農太田へ向う。とこから又越終南

ルカーで、車はガタガタ語いなが

練に乗り換える。

この線はディゼ

以上も立たねばならないと思うと

である。これから岐阜まで三時間 き各駅停車が入つて来た。超過間

気が滅入つてくる。

新

ウ、ブイシス神父、小川先生、加

会・基本図書 新 村 出

京 都御 池間 〒価B6二五五五〇〇〇 **一一一一**

之町 国

TEL @F

おどりはいつはてるともなく続 死のかやに思ふた かれ少なかれそのととろに同様で あろうと思います。 出します。神父様は花がお好きで のがあります。中学生の踏岩も多 とろは紙面にあふれて切々たるも りの草花の絵があつたとと表思い であつた頃の何号かに美しい色刷 またこの新聞が小型のプリント

えるので早めに眠つた。 いているが残々は明日にさしつか

| 道は昨日 にくらべては るかに悪 | 六百八十六メートル城山がある、 山市へ出る。国鉄バスで元来た道一つて高山へ伝えられた小鳥丸の名 は別のバスで三時間余り。今日の一はかつて金漆の居城があつた海抜 八月十八日。山の朝は寒く二十一というのがゆずらしい緑度だ。仙 との天守閣趾から北アルブスの連 刀というのがあつた。市の東南に に
帝都の
守り刀と
言われ
平家によ 峰が遊く認める。

> を問われるままに、日本ではあま が生けてあつた。私はその花の名 堂の祭壇に母珠沙蟬(ひがん花)

り使わない花であると言ったとと

租高、槍から適かに速電缶が見渡 石から栗鞍の群山、嬬岳の喧響

らたていな=中収ない、ペンコー 少々ならべてみよう。 なこと=生蔵気なこと、こきんさ 様なら、むてんくてんに=とても ついでに飛騨の方言と特産物を あんさま=兄様、あばえな=左 出そうとされる神父様でした。

顔の花(いまの桔梗)を占くから

萩の花、尾花(すすき)窓の花

十四時二十一分、いよいよ帰途

文注: な あばえな、飛騨の国際

いととを二、三考えてみましよくのは厄介なので、あまり利用さむというのは後の種類にはいるもくようにしましよう。 る本と、必要なときに必要なとこ 九強和が見つからないとき、また 多くの本には、そ の本を始めから終 い方を知つて

館の一面をいつたものではありま(練された祭の先生がついているわ)本は順序よく並べてあります。まによって早く本を見つけることが 一、以要次本を早くとり出すにめる本がどこに分類されているか 二、参考図書の使

No. 1 3

すが、こういう考え方だけをするけです。

が図書館だと簡単に考えている者

そのために多くの本や資料を集

本を貸してもらうととろーとれす。

と、必要な本が買える家庭の人に

本校の図書館

は図野館は無くてもよいことになには充分な図書

りそうです。図書館の大切なとと

は図書館でなければ出来ないいろ

いろの機関(はたらき)があるか

蔵書数や資料が つていませんが や盗料はまだ抽

なるに従いとの点が大切になりま なことでしよう。上級の図目前に ようになっていることは最も重要 研究が必要なときに容易にできる

> 図書館の上手な利用法 ておくことが大切です。詳しい事りまで通読するように出来てい 川島 ろだけを手取り早く間べるための 淑世

ずどんな本がどこにあるかを知つ できます。

手に利用するために知つておきた の目録を利用すること。目録を引 ものとがあります。ここで参考図 目とその順序を協えて下さい。 は知らなくても、大体の分類の辺 図書館主任

らです。そのうちで、脳べものや少くても上手な利用法に馴れると

のです。そこで観さんがもつと上 路岩遠の要求を満たす事が出来る 歴史部レ

夕 飛 4 下に沈む大家族 驒 高 原 を 行 0

白川村

り合撃造りの中でも一番大きく代 る。これが御田衣部窓の入口にあ ると駅の前に小山の様な家があ

はオエと呼ばれ客間繋居間でなど

おうがサーハヨー

おらも其の時や

殿の頭をしつくりやと

ざしやつた

やお別れの言葉を書いてもらいま 高校一年の諸君に神父様の想い出

した。生征路君の神父様を慕うと

何の話をしてゐるととを

別の特はかざりないのです。 した。それ故にこそわれわれの谐

特に四年間をその膝下に学んだ

西の方からぶんとは来てや

がに目がある尻に針や御座る

くださつたのもホワイト神父様で

生徒会をそして浴風新聞を育てて

思えば、学校を起こされたのも

おらを殴ざと個評の下で

表的な選出家である。

歴史部は八月十七日から十八日にかけて白川村、高山市など飛騨高原の歴史をたずねて旅行し た。以下はその報告記であるー。

から分家して家を立てるのは止め

た。結婚は長男だけに許され、次

地をもむだには出来なかつた。だ一てある。枦の上には図測が幽話す

センチあろうと思われる洞でつら

でもやした灰火の煙が各天井やす いたら落ちそうである。これは四 れている。二階の床は竹眼りて形

りぬける。人が住むのは一瞬で二

を営んでいた。そのため少しの土

促が悪く自給自足の孤立した生活

このあたりは明治までは交通の

地先生と部員たちの一行十九名が一まで約三時間だそうだ。凹凸のひ 京都駅へ集合した。やがて東京行一どい道である。ドスンドスンとに て岐阜へ着いた。高山線の発車ま一分岐点である海抜八百五十余メー 八月十六日午後十後十一時ナド| 磯白島で車を下りる。 になびいている。との高原は今、 となつて日本海へとそそぐ。その 川となつて太平静へ、一方は庄川 かと

らに

な長度川と

庄川の

分水

樹

る。

バスは

庄川を

右手に

見て

白川 飛卵の山原には秋のくるのがはや ぎやかなかざりだ。急な坂をあえ 関和中だそうだ。とうとうバスが一々のはるか上方に網の水面を表す い。八月半ばすでに潮の秘波が国 トル、蛭野高原へとたどりつく。 すなわちことから川は一方は摂良 ざあえざ登つているうちにどうに とれからは国鉄バスで、御田衣 | 景気よくつつばしつて行く。 から白山の連轍が頭を出してく 見えてきた。又前万には山々の間 てところどころに合郷強りの家が いよ飛騨の国へと踏込んだ。やが の語では、圧川の下流の発電所の をたててある村を遡る。車等さん に「ダム建設反対」と書いた立札 バスは大型で適も割合平坦なので 街道を下る。やがであつちとつち 二倍というダムを作るのでとの一 十余メートル、貯水量は琵琶湖の 帯は剖庭に沈むそうだ。回りの山

ら長長川をさかのぼつてしだいに一故障してしまつた。しばらく待つ 標識が点々とついている。展前よ 男以下はいわば内縁関係のツマド

|冬の渇水期にそなえて、密差百二||するとジジババと呼ばれかわつて の褒(カカ)は台所の司であつ ト)は家長として財産を修理し祖 イで子供が生れたら田方の家に引 き取つた。そして一軒の大きな家 た。家長は外で働かず、外の仕事 の家族が住んでいた。戸主(ト を立ててその中には二十一三十人 は正親の経験者が鉄頭となつて州 先を招り村づきあいをした。家長

た。

歴史である。帰りに絵楽書楽買つ たように別える。これも二音年の すすの為か思く一めんに約りつけ

山の中へと入つて行く。九時前美 て別のバスに樂り換える。今度の一うやく御母衣に着いてバスを下り一くなった。町へ自由に出て働ける た。しかしこういつた生活は他と ら動かたも見えない。 狭い土地で の交際が容易になった現在ではも 長男(アニ)が新しい家長となつ 女の原頭もいた。家長夫婦が韓居 を守つた。まかないを管理する名 の自給自屈の生活はあら以製でな 京都をたつて十四時間会り、や

れていないようですが、自分の求のです。百科事典、専門の基則、 役場へ関んであったから小学校を ハンドブツク、年製のようなもの 学月などいわゆる辞典類と辞跡、 歩に出てみた。との辺の町はみは た。贈いてしばらく昼寝をして敷 とまで一キロ程、ならならない 白川街道にそつて横に長い。案外 任してくれることになったのでそ は宿屋はないので前もつて學紙で つと第一の目的を達した。ことに

がそれです。 告があるか、それらはどのように 個べておきたいものです。 引けばよいかについては目倒から 本校の団芸館にはどんな影響図

ないときは係の先生に遊園なくき 図書館の利用のし方について判ら 観べようとするととについて適当 三、係りの指揮に含くこと ではない。飛跡のような山の中に

あるが彫刻としてはたいしたもの

昔にとんな仏像が入つて来ていた

写真

外

館如来、均偏世音響廣等の国宝が

室町時代の建築といわれ、本祭選

側武天皇の国分寺の一つで本堂は

山家のわきにもペンキ館の郵便局 分家もできる。バスも通い、学校一ひらけていて肉屋や八百屋や料理 も前防署も近代的になったし、遊 半、災行九間半、五附建の建物で 優に三尺を越ている。周口十五四 送山家の合なに箕字のあつみは る。木材は山国だけあつて相当大 瓦をふいた 家が少 ないことであ さしが大きく突き出ていることを 屋等が目につく。家屋の特徴はひ

結ばしやんした

おききならんよ

孫子の湫晃

出雲の神が

緑じやものサーハヨー

けします。忘れかけたとろに発行

おそがけながら十三号をおとど

全国図書館協

築

室

する新聞。申しわけありません。

ができた。

の左には周屋がある。右側の部屋 が立ててあつたからである。入口 固く御断致りします」という立札 銅鋸は甚だ迷惑につき帥人にても うのはこの入口に「当家の内部の て歌組しながら中へ入つた。とい 一百年前に造られ現在は十七代目 交法の結果一部の観覧を許され 一群れておどりがはじまつた。との だそうで学校の校廷にはやぐらを きいのを使用してある。 紹介してみよう。 来合せたものである。やがて日も 江州音頭の系統だろう。真中のや 線で背頭をとつている。一つ二つ ぐらにはおやぢ連中が太鼓や三味 地方の民謡ばかりだが、だいたい 組んであつた。丁度よいととろへ 今日はこの村の最後の盆おどり

だそうである。

経も経ちやが脚長経よ

羽根が四枚あつて

足が大本御座る

おせどに終が築をかけた

定していた本号が計らずもホワイ

ト神父様の送別号となろうとは。

しかし、爽秋に先がけて発行を予

文博

おらがサーハヨー

隣りの人兵術のばばさ 前歯二本におはぐろつけて 白螺三筋に 年は九十九で 嫁入りなざる 瓜びんつけて

な他が敷いてあり中央に炉が切つ ろの上等なものとでも言えるよう ばりで二十一畳敷で部分的にむし もかもが思く光つている。床は板

ばばさおきやれと 高山」飛驒文化の中心地 城跡からアルプスをのぞむ

うど去年の今とろであつたか、四

よく理解しておられました。ちよ した。しかも日本の花の美しさを

い木材をみな細でしばつてある。 らしく広いのみである。非常に太 階以上は仕事場か物量にでも使う

は谷川、高度約一〇〇の高頭。 を牧戸まで引きかえし、そとから 日標がみえる、落葉板が見える、 い。坂又坂で車は遊いつばいで下 間会りを利用して高山市を見物す 来たので町の雰囲気がなつかし 度だ、午前七時これからバスで高 メートルの峠をこえた。これから スリル満点である。単は千百五十 その間をたくみにカープして行く い。帰りの汽車の出るまでの三時 ついた。ひざしぶりに山から出て は下りで十一時過ぎに高山駅前に される。

一すぎなかつたのです。このように

日本ではあまり好まれない日本の

雄花にさえも個性ある美しさ本見

すよ」といわれたのでした。考え ろ、神父様は「それでも美しいで

てみれば、その答えは私の個別に

の細工等主として木に関するのが つたかよ=層いなさつた等。 名頭としては飛騨森城壁、 撫子の花女、郎花、藤はかま、朝 は彩られてゆくのです。 あの菊の花を加えて日本の秋の野 からのせめてもの贈りものをと考 秋の七草といつています。さらに

五万で飛跡の文化の中心地であ らだ。海抜約六〇〇米。 人口凡そ 流れそれにそつて広がつているよ

高山市は市の中央を南北に川が

る。ここの国分寺をのぞいて見た

げるととにしました。 き絵でひそやかに吹く野苑の花の 仕事をつづけています。 はなお訳として、本号が神父様の 同に沈もうとしています。新聞部 御手に落ちる日を想いつつ編集の SQ 幅をえがいた小さな手箱をさざ 秋の入日は真赤に焼けてভ岩の

> 服 御 制

えた宋に、思いうるし強りに金ま

神父様の魚なお発ちへの生徒会

京都制服衣料工業協同組合

度 あ IJ が 2 とう い ま \$

每